

各関係機関長 殿

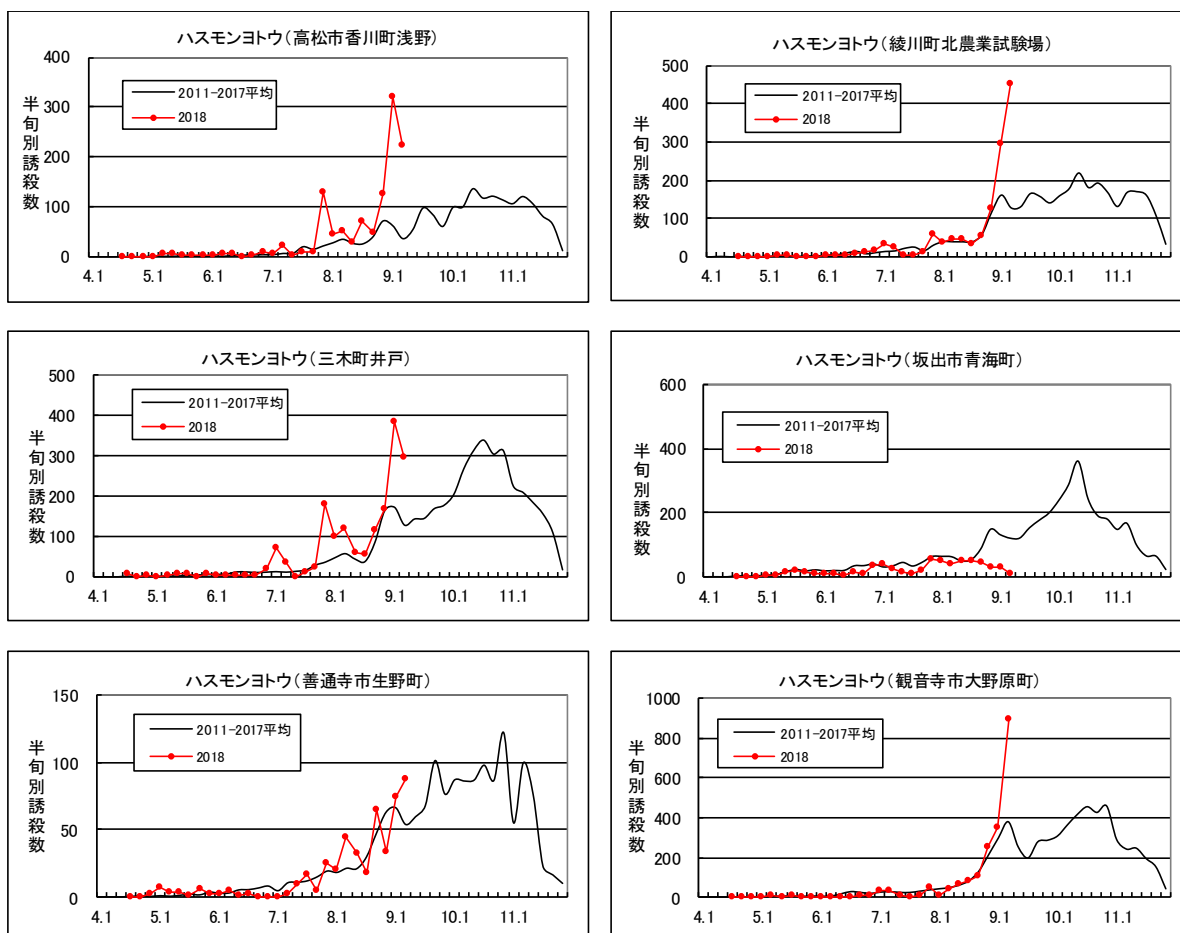
香川県農業試験場病害虫防除所長
(公 印 省 略)

平成 30 年度病害虫発生予察注意報第 5 号について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

平成 30 年度 病害虫発生予察注意報 第 5 号

1. 病害虫名： ハスモンヨトウ
2. 対象作物： **野菜・花き類全般及びダイズ**
3. 発生が予想される地域： **県下全域**
4. 発生程度： **多**
5. 注意報発表の根拠
 - 1) 県内に 6 か所に設置しているフェロモントラップのうち 4 か所（木田郡三木町、高松市香川町、綾歌郡綾川町、観音寺市大野原町）において、8 月下旬から 9 月上旬にかけての雄成虫の誘殺数が過去 7 か年に比べ多かった（第 1 図）。
 - 2) 向こう 1 か月の気象は、降水量が多いものの、気温が平年並か高いと予想されていることから、今後も本虫の増殖に好適な状況が続くと考えられる。



第 1 図 フェロモントラップでの誘殺状況(半旬別誘殺数)

6. 防除対策

- 1) 若齢幼虫は集団で食害し、その後周囲に分散するので、初期の食害発生に注意し、卵塊や幼虫集団は見つけしだい捕殺する。
- 2) 育苗床では防虫ネットで被覆するとともに、ハウス栽培の場合は開口部を防虫ネット（4mm目合以下）で被覆する。
- 3) フェロモントラップの誘殺状況や圃場内での本虫の発生に注意し、適期に防除を行う。
- 4) 幼虫集団が食害した後は、表皮だけを残した白変葉となるか、葉脈だけを残した状態となっているので、圃場内でこれらの葉を多く見つけたら、直ちに薬剤防除を行う。
- 5) 薬剤の効果が高いのは体長1cm程度までの幼虫であるので、早期発見に努める。
- 6) 防除薬剤は香川県主要病害虫・雑草防除指針、地域の防除暦等を参考に選定する。
- 7) 一部の薬剤に対して抵抗性の発達が認められるので、平成26年度病害虫発生調査速報第7号 (<http://www.jpjn.ne.jp/kagawa/>) 等を参考にする。
- 8) 作物によって、登録のある薬剤が異なるので、使用にあたってはラベルをよく読んで、登録の有無や収穫前日数、使用回数等使用基準を遵守する。



写真1 ハスモンヨトウ卵塊と若齢幼虫



写真2 若齢幼虫によるブロッコリーの食害



写真3 ハスモンヨトウ中老齢幼虫



写真4 ハスモンヨトウ成虫

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <http://www.jpjn.ne.jp/kagawa/>